

『いちご倶楽部 夏祭り』

大勢の来場で大成功 ありがとうございます



アツ!とおどろくマジックショー

恒例の、第8回『いちご倶楽部 夏祭り』を、8月9日(土)五箇荘てんびんの里中央公園で開催しました。“忘れられない、夏になる…”をテーマに、今年の夏の思い出作りにと計画しました。マジックショーやてんびん太鼓、オカリナ演奏などでみなさんに楽しんでもいただきました。500人を超えるご来場をいただき、屋台やゲームコーナーは、あっという間に完売となってしまいました。こんなにたくさん来ていただいて社員一同とても感謝しています。

かぶと虫つかみも、たくさんの方に参加していただき、かぶと虫もびっくりしたことと思います。時間的に制約された部分が多かったのですが、喜んでいただけました。戻ってこられた子どもたちの顔は、とてもうれしそうで、きっと“忘れられない、夏”になったのではないのでしょうか。

暑い中ご来場いただき本当にありがとうございました。範囲を借りてお礼申し上げます。来年もお会いできることを願って……

オカリナ演奏
とてもきれいな音色でした



勇壮なてんびん太鼓
迫力のある音で魅了されました



プールにはまらないように気をつけて



ゲームをしているときの子どもたちの表情は真剣そのもの。何度も並んで挑戦してくれました。



焼きそば持っているの?



ヨヨーつれたよ!

暑い、かき氷は大人気

いっぱいかぶと虫ととるぞー

大切に育ててね

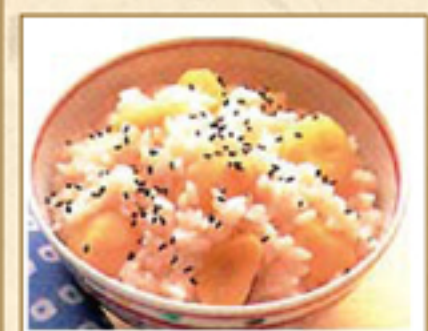
いよいよ、食欲の秋ですね。秋の味覚はたくさんありますが、代表格と言えば栗もそのひとつです。栗は簡単に甘栗にして食べるのも美味しいですし、ちょっと手を加えて甘栗煮や栗きんとん、栗ご飯などの他、モンブランや栗羊羹等のスイーツの素材としても美味しいですよ。今回は、定番の栗ご飯のレシピを紹介します。

簡単! 栗ご飯のレシピ

- 材料:(4人分)
- 1. お米:2カップ
 - 2. 水:440ml
 - 3. 合わせ調味料
酒=大さじ2
しょうゆ=小さじ1
みりん=大さじ1/2
塩=小さじ3/4
 - 4. 栗:300g
 - 5. 黒ゴマ 少々

準備

- ・お米は、炊く30分前に洗ってザルで水気をきっておく。
- ・栗は、柔らかくするために熱湯につけておく。湯が冷めたら、洗皮ごと包丁でむき、水にさらしておく。



準備ができたなら…あとは簡単!

- (1) まず、炊飯器にお米と水と合わせ調味料を入れて、ひと混ぜする。
- (2) そして、栗を均等になるように入れたら…

普通に「炊く」だけ!

最後に、お好みで黒ゴマを少々入れればそれで出来上がり♪

紅葉情報

鶏足寺 (飯福寺)

鶏足寺は滋賀県伊香郡木之本町にある真言宗豊山派の寺院です。

奈良時代から平安時代にかけて、木之本町の東方、近江国の鬼門に位置する己高山を中心に山岳信仰が隆盛しました。多くの寺院があり、天台系山岳仏教の聖地でした。鶏足寺は己高山の中心寺院であった観音寺の別院であり、伝承によれば天平7年(735年)行基によって開基、いったん荒廃したものを延暦18年(799年)最澄が再興し、たとえられていました。近代以降、鶏足寺をはじめすべての寺院は己高山の山麓に下り、または廃絶しています。現在その山麓古橋地区と志満神社境内に己高閣と世代閣と称する2棟の収納庫が建てられ、鶏足寺や関連寺院に伝わった仏像(国の重要文化財に指定されている諸仏)などが収納・公開されています。

紅葉の名所として知られて

いる(鶏足寺(旧飯福寺)と称する寺はその古橋地区から徒歩15分ほどの山中にあります。駐車場から水車小屋のあるのどかな村の道を通りぬけ、左右に広がる茶畑、里山の風景を楽しみながら標識に沿って遊歩道を進み、しばらくすると鮮やかな紅葉が目に入ります。石畳の遊歩道を登り詰ると紅葉の木々の間に古寺が見えてきます。

緩やかな参道の石段、両側のこけむした石垣、台地の佇いは、往時を偲ぶに十分ですが、境内を埋める200本の古木の紅葉でより一層の由緒深さを感じられます。

見頃は11月中旬です。

交通機関 JR北陸本線木之本駅下車バス古橋下車、徒歩15分

